

提言 西川のまちづくり応援団について

1．提言の背景・趣旨

まちづくり応援団は、職員提案を政策に取り上げ、平成9年度に設置されたもので、町民と団員の相互ネットワークと人・物・情報の相互交流を図り、町施策への反映を目的にして設置された。

設立後、21年経過しており会員の高齢化により21名が退団するなど会員の確保（新規会員の獲得）と事業の活性化が今後の課題になっている。

2．提言内容

会員の確保・拡大

関東、東北ブロックの他、山形市や寒河江市等に転出した県内居住する西川町出身者に呼びかけ「県内ブロック」を新設し会員の拡大を図ること。

ふるさと納税とリンクした会員勧誘を図り、新規会員確保に努めること。

世話人会は新体制となったが、構成年齢に偏りがある。バランスのとれた年代構成とし、若者からお年寄りまで広く勧誘し会員拡大を図ること。

事業の活性化

例年実施している事業は、関東ブロック、東北ブロックの総会、七夕交流会、西川町での交流会等であるが、事業がマンネリ化しており会員にとっての魅力が薄れてきている。活性化に向けて事業を見直し、新たな事業展開を検討すること。

応援団特典事業

誘客支援事業として、会員には飲食小売り10%、宿泊20%、リフト5%の特典割引をしているが、実績を見ると町内消費拡大に反映されておらず町内業者にメリットが少ない状態なので、検証のうえ応援団特典事業の見直しを行うこと。